

デジタル資格者証の活用方法

デジタル資格者証は二次元コードを読み込むことで有効性を確認できます。
紙の提出が必要な場合は印刷して送付も可能です。

1. 対面でデジタル資格者証を提示

(目視確認もスマホ読み取りも確認可能)



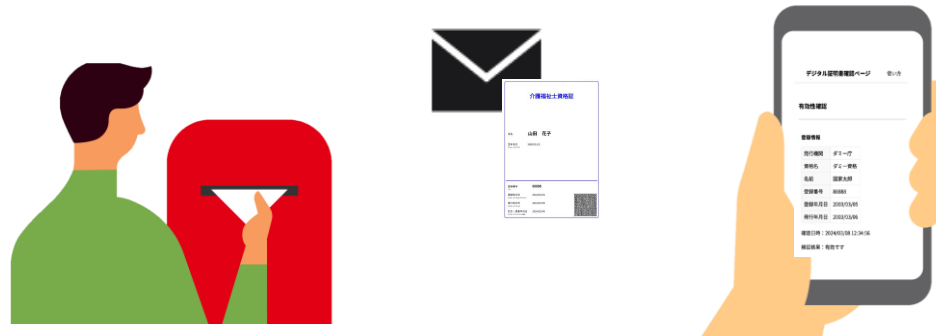
2. メールで資格者証データを添付し送付



3. 印刷した資格者証を対面で提出



4. 印刷した資格者証を郵送で提出



【参考】デジタル資格者証の検証の流れ

資格保有者

提出を受けた側 (検証者)

1. デジタル資格者証の提示

①二次元コードを提示

二次元コードを検証者へ提示



2. 検証の実施

①二次元コードの読取

スマートフォンのカメラ等で読取



2. 検証の実施

②検証開始

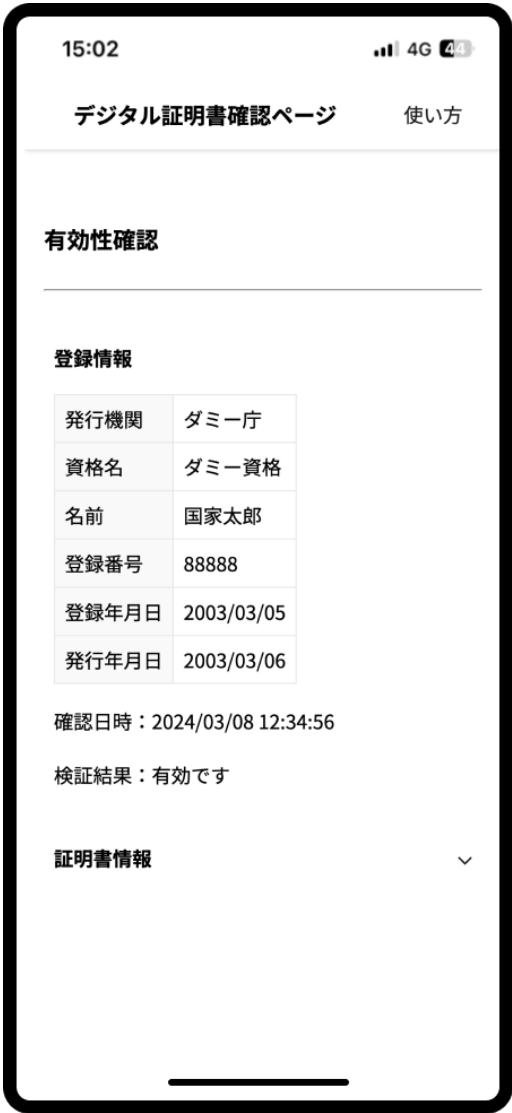
「検証実施」を押下



3. 検証結果の確認

①検証結果の確認

有効性を確認



<二次元コードに含まれる情報>

`https://dqcvns.nqs.go.jp/w/?c=XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX`

デジタル証明書確認ページのURL 登録情報 (署名済み) をBase64エンコードした値

↓登録情報 (署名済み) はCOSE形式で次の2つから成る

- ① 資格保有者の登録情報やデジタル資格者証の識別情報
- ② 登録情報に対する署名値

※ COSE形式: CBORを用いた署名付きデータのデータフォーマット
※ CBOR: 構造化されたデータを記述するためバイナリ形式のデータフォーマット

<検証の流れ>

- 検証の際は、二次元コード読取先のURLのドメインが「dqcvns.nqs.go.jp」であることを確認
- ②を用いて検証することで、①の真正性を確認 (※)
- ①の登録情報を表示
- 検証者は表示された検証結果のステータスを確認する
 - ・有効な場合: 「有効です」
 - ・有効でない場合: 「無効です」と表記の上、() 内に検証結果が無効となった理由を表示

※検証時の処理

- ✓ ①が改竄されていないことの確認
- ✓ ①の有効性(取消・一時停止・削除されていないか)を国家資格等情報連携・活用システムに照会
- ✓ 署名付与に使用した証明書が失効していないことを認証局に照会